

民主むろらん

日本共産党
室蘭地区委員会
発行責任者
毛利 敏
室蘭市東町4-7-8
電話(44)5573

やらせ道の関与指摘 北電第三者委 プルサーマル延期へ

北海道電力泊原発3号機へのプルサーマル導入をめぐり、北電の「やらせ」問題を調査していた第三者委員会(委員長・市川茂樹弁護士)は14日、「シンプオ」を目的とする動員は、不適切」と北電の組織的関与を認め、道の関与も指摘した報告書を発表しました。報告書は、国や道が主催したシンプウムで、北電関係者の意見提出(回答)数が、賛成、反対の結果に影響を与えたとし、中間報告に関しては、「集約結果を歪(ゆが)めた可能性



が相当程度認められる」としています。本店電、源立地部、渉外課、原子力部などの組織的関与があったと断定。一方で取締役役らが積極的に指示したことは認められなかったとしています。同時に、2008年に道が主催したシンプウムの運営の打ち合わせにおいて、道総務部危機対策局原子力安全対策課から、北電の電源立地部の担当者に対し、「地元から反対派の主張を打ち消す意見がほしい」という趣旨の発言があったこ



財界のご所望品で暴走狙う 倉田 新

「地元から反対派の主張を打ち消す意見がほしい」という趣旨の発言があったこ

年金支給日の14日午後、「震災復興・原発ゼロ、社会保障充実を」と10・14統一行動の宣伝・署名行動が中島町アイランドで行われました。

年金日行 庶民増税 年金先延ばしするな 震災復興・原発ゼロを

年金者組合の上西英子さんは、「震災復興の名で庶民増税がすすめられ、年金が68歳から70歳に先延ばしされようとしています。消費税によらない最低保障年金制度を」と訴えまし



労働相談を受け付けています
雇用問題
110番
TEL 44-9202

「これ以上年金が改悪されれば大変です。若い人たちも将来の見通しが立たなくなります」と怒りの声を上げていました。

北電やらせ認める 北海道電力の佐藤佳孝社長は17日の記者会見で、「やらせ」の事実を認めると

「やらせ」の事実を認めると

「やらせ」の事実を認めると

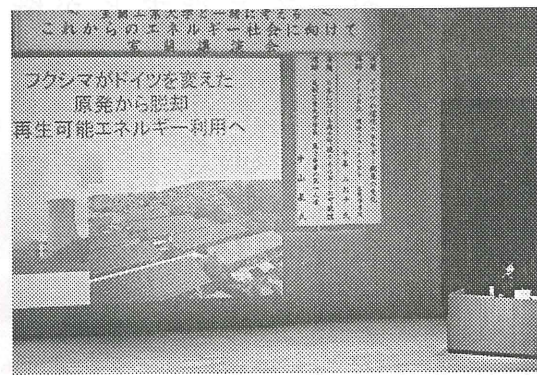
野田内閣は、11月のAP E C(アジア太平洋経済協力会議)首脳会議にむけて TPP(環太平洋連携協定)参加を決定しようとしています。

労働など、国民生活のあらゆる分野での「規制緩和」をねらうものです。

「やらせ」の事実を認めると

再生可能自然エネルギーへの転換は急務 「フクシマがドイツを変えた」室工大主催の講演会

10月12日、室蘭工業大学主催による「これからのエネルギー社会にむけて」の講演会が、市民会館で開かれ、市民ら200人余りが参加、原発や石油燃料に代わるエネルギー社会のあり方について考えました。講師は環境ジャーナリスト今泉みね子氏と足利工業大学(栃木県)の牛山泉学長が務めました。



電力福島第一原発事故以降、「フクシマがドイツを変えた」と3・11以降ドイツ国内の「脱原発」の動向を紹介。原産17基を2022年までにすべて停止させる「脱原発法」成立の経過などを説明し、「日本で脱原発に向うかは、国民の強い意思にかかっている」と指摘しました。

牛山学長は世界の風力発電事情について講演しました。牛山氏は地球人口がこのまま推移するなら数十年後に100億人となる。一方で化石燃料が数十年で枯渇すると言われている中で、「いまこそ日本でも本格的な自然エネルギーの転換がもたらめられている」と

指摘。いまヨーロッパを中心に自然エネルギーの転換がすすめられていることを紹介しながら、とりわけ日本は原発・化石燃料に代わる再生可能エネルギーの可能性は大きい。風力、水力、地熱、バイオ、太陽光エネルギーは無限であり、原発火力発電からの切り替えは急がれるとパネルを使って力説しました。

子ども手当 10月から変更 手当からの天引きも

10月から、子ども手当の支給額が変更になります。



今年8月30日に民主、自民、公明3党の合意にもとづいて成立した「子ども手当特別措置法」にもとづくものです。

さらに10月からは、子ども手当から給食費、保育料、放課後学童クラブの費用、教材費、修学旅行の積み立てなどが天引きできるようになります。

◎これまで子ども手当を受給していた人も、改めて申請が必要になります。
《詳細》市子ども家庭課 母子児童係 ☎25-2494



原発0ゼロへ

—安心して住み続けられる北海道を—
とめよう、なくそう、原発! 11.23道民集会
11月23日(水・祭) 11:00~札幌市大通西8丁目

①室蘭・登別~ ②伊達・洞爺湖~
2台のバスを運行します。今から準備し、各団体、党支部・後援会からも多数参加しましょう。

主催:「軍事費削って、くらしと福祉・教育の充実を」
国民大運動北海道実行委員会

かけあひ記

次期総選挙の比例候補として活動することとなり、二〇〇三年から北海道ブロックの党議席がなくなり、みなさんの切実な声を国会に届けられず悔しい思いをしてきました。何としても取り返したい。全力を尽くします。

さつそく宣伝や「つどい」などに取り組み、十六日は「北炭新鉱大災害から脱原発を考える夕張市

意思を受け継ぐ

十月十七日



日本共産党道副委員長・政策委員長 高山 和也

労働者と懇談した記録がありました。

「ガス警報機がなりつばなしで作業がおこなわれている」「盤圧で骨格坑道でさえおしつぶされ、規格

労働者には人権無視という深刻さ。さつそく党は

通産局などへ要請しましたが、悔やまれることに事故はその三ヵ月後に起きてしまいました。

犠牲者の中には、党市議だった田口睦夫さんも含まれていました。田口さんはじめ犠牲になった党員の意思を継ぎ、地元党員・党组织は労働組合で、居住地で、住民の願いに立った活動を広げながら、党も強く大きくしていって記録が残っています。

北海道的には、多くのたかひの歴史があります。その意思を受け継がれ、今の私たちの活動があります。すべての思いを背負って、議席奪還へがんばります。

2012 好評発売中 ちひろカレンダー

定価1,470円 (消費税込み)

お近くの党員、事務所、赤旗集金人までお申し込みください。

